

財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 上小阿仁村

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額 C	標準財政規模 A+B+C
246	1,455	150	1,850

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの 繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	2,838	2,765	72	62	45	2,975	
簡易水道事業特別会計 (小規模水道分)	2	2	0	0	0	39	
一般会計等	2,839	2,767	72	61		3,013	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不 足額(実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債(地方 債)現在高	左のうち一般会計 等繰入見込額	備考
簡易水道事業特別会計	70	68	2	2	30	655	457	
農業集落排水事業特別会計	104	103	0	0	84	510	407	
下水道事業特別会計	56	55	0	0	40	317	262	
国民健康保険事業勘定特別会計	403	378	26	26	28	0	0	
国民健康保険診療施設勘定特別会計	117	112	6	6	33	0	0	
特別養護施設特別会計	424	405	19	19	44	0	0	
老人保健特別会計	6	6	0	0	0	0	0	
介護保険事業勘定特別会計	389	368	22	22	91	0	0	
後期高齢者医療特別会計	37	37	0	0	13	0	0	
公営企業会計等 計				75		1,482	1,126	

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△)で表示している。
4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不 足額(実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債(地方 債)現在高	左のうち一般会計 等負担見込額	備考
北秋田市上小阿仁村生活 環境施設組合(一般会計)	257	197	60	60	0	38	6	
北秋田市周辺衛生施設組 合(一般会計)	251	222	29	29	0	41	2	
北秋田市上小阿仁村病院 組合(病院事業会計)	1,529	1,540	△ 11	△ 152	565	487	15	
秋田県市町村総合事務組 合(一般会計)	15,532	15,294	237	237	1,047	0	0	
秋田県市町村総合事務組 合(交通災害共済事業等 特別会計)	167	145	22	22	0	0	0	
秋田県市町村会館管理組 合(一般会計)	126	106	20	20	0	0	0	
秋田県後期高齢者医療広 域連合(一般会計)	451	432	19	19	0	0	0	
秋田県後期高齢者医療広 域連合(後期高齢者医療 会計)	132,767	128,389	4,378	4,378	1,293	0	0	
一部事務組合等 計				4,614		566	23	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
かみこあに観光物産株式 会社	1	61	50	0	0	0	0	0	
秋田内陸縦貫鉄道株式会 社	△ 251	93	2	1	0	0	0	0	
地方公社・第三セクター等 計			52	1	0	0	0	0	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	706	872	166
減債基金	108	108	0
その他充当可能基金	502	462	△ 40
充当可能基金 計	1,315	1,442	127

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	2.94	3.32	0.38	△ 15.00	△ 20.00	簡易水道事業特別会計	—	—	—
連結実質赤字比率	7.24	7.35	0.11	△ 20.00	△ 40.00	農業集落排水事業特別会計	—	—	—
実質公債費比率	17.1	15.9	△ 1.2	25.0	35.0	下水道事業特別会計	—	—	—
将来負担比率	46.3	22.6	△ 23.7	350.0					
財政力指数	0.13	0.13	0.00						
経常収支比率	90.3	81.9	△ 8.4						

(注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△)で表示している。
2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。